

大型水生甲殻類

絶滅

野生絶滅

絶滅危惧I類

絶滅危惧II類

絶滅危惧III類

準絶滅危惧

情報不足

絶滅のおそれのある地域個体群

1 サワガニ

【生息場所】
沢・川よくみられる時期:6月~9月
甲幅:25mm

2 シオマネキ

【生息場所】
砂浜・磯よくみられる時期:6月~9月
甲幅:35mm

3 ハクセンシオマネキ

【生息場所】
磯・砂浜よくみられる時期:6月~9月
甲幅:16mm

4 アリケモドキ

【生息場所】
川・汽水域よくみられる時期:6月~9月
甲幅:10mm

5 モクズガニ

【生息場所】
川・汽水域晩夏から秋に川の淡水域に出現
甲幅:80mm

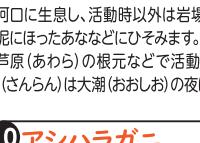
6 アカテガニ

【生息場所】
磯・川繁殖期:夏
甲幅:30mm【生息場所】
磯・川繁殖期:夏
甲幅:30mm

7 クロベンケイガニ

【生息場所】
磯・川

干潟(ひがた)や塩沼(しおぬま)に深さ10~50cmほどの巣あなをほって昼間はひそみ、夜は活動します。ヨシ葉や小さいカニを食べます。

【生息場所】
砂浜・川繁殖期:夏
甲幅:50mm

8 ベンケイガニ

【生息場所】
磯・川

干潟(ひがた)や塩沼(しおぬま)に深さ10~50cmほどの巣あなをほって昼間はひそみ、夜は活動します。ヨシ葉や小さいカニを食べます。

【生息場所】
磯・汽水域よくみられる時期:6月~9月
甲長:15mm

9 ユビナガホンヤドカリ

【生息場所】
磯・汽水域

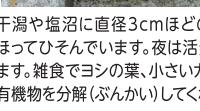
干潟や塩沼に直径3cmほどの巣あなをほってひそんでいます。夜は活動します。雄食でヨシの葉、小さいカニを食べ、有機物を分解(ぶんかい)してくれます。



10 アシハラガニ

【生息場所】
砂浜・川

干潟や塩沼に直径3cmほどの巣あなをほってひそんでいます。夜は活動します。雄食でヨシの葉、小さいカニを食べ、有機物を分解(ぶんかい)してくれます。

【生息場所】
川繁殖期:5月~9月
体長:100mm

11 ミナミテナガエビ

【生息場所】
川・汽水域

第二胸脚(きょうこうきゃく)が長くのびており、頭胸甲(とうきょうこうじやく)に3本の斜線(しゃせん)があります。昼間は石の下や水草のしげみにひそみ、夜活動します。一度に卵を2000個産卵します。



陸・淡水・汽水産貝類

大分県内で陸地や淡水・汽水にすむ貝は約300種近くあります。その中で大分市内にも約150種が生息しているといわれています。ごく一部ですが、下記にあげています。それぞれに似た貝がたくさんいますが、いずれも大切な生き物です。

1 ヒザラガイ

【生息場所】
磯繁殖期:7月~9月
殻高:50mm

潮間帯(ちょうかんたい)の岩の表面にあるくぼみや岩のすき間にひついて生活しています。だ円形で背面(はいめん)に8枚の殻(から)がありその殻(から)の間に丸く短い殻があります。

2 マツバカイ

【生息場所】
磯繁殖期:5月~7月
殻高:50mm

放射(ほうしゃ)状にある赤かっ色の線がマツ葉(まつば)のようにみえます。天敵はイボニシなどの肉食性巻貝(まきがい)やヒラムシ類、ヒトデ類です。長命な貝で20年くらい生きます。寿命(じゅみょう)は3年くらいです。

3 アマガイ

【生息場所】
磯繁殖期:5月~8月
殻高:10~20mm

海岸の潮間帯上部の岩躰(がんたい)地、コンクリート人工物などに見られ、卵巣(らんのう)からは幼貝(ようがい)が出てきます。寿命(じゅみょう)は3年くらいです。

4 イシマキガイ

【生息場所】
磯・川繁殖期:4月~8月
殻高:20mm

殻の頂上(ちょうじょう)部が河川水にとけてボロボロになります。直径1~2mmの卵塊(らんかい)をうみつけます。岩石についた小さな藻類(そうり)を食べます。

5 ミヤコドリ

【生息場所】
磯・川繁殖期:5月~8月
殻高:10~20mm

元はオレンジ色ですが、硫化鉄(りゆうかてつ)がついて黒くなっている個体も多いです。軟体(なんたい)部は赤色で、殻(から)のうちに多数の突起(とつき)を出します。

6 フトヘナタリ(左:シマヘナタリ)

【生息場所】
川・汽水域繁殖期:6月~9月
殻高:30~35mm

殻には等間隔(とうかんく)に縦肋(じゆろうく)がならび、殻口(かくこう)の前縁(ぜんえん)は伸び、外唇(がいしん)は肥厚(ひこう)します。殻(から)表面は茶かっ色によって彩色(さいしょく)されています。

7 オカミミガイ

【生息場所】
川・汽水域繁殖期:5月~7月の大潮
殻高:40mm、殻径:25mm

海岸性の貝ですが、水中に入ることはほとんどありません。アシ原(あしはら)にいますが、活動期はアシ原からはい出でます。

8 マルタニシ

【生息場所】
田んぼ・川繁殖期:5月~7月
殻高:60mm

平野部の水田や用水路に多く生息します。用水路のコンクリート化により生息環境が悪化し、絶滅(ぜつめつ)した生息地もあります。

10 モノララガイ(右:ヒメモノララガイ)

【生息場所】
田んぼ・池繁殖期:6月ごろ
殻高:20mm

石につけた藻類などを食べた後がきれいにみえ、物洗貝と名がついています。雌雄(しゆう)同体で他の個体と交尾(こうび)し、卵を水草や石などにうみつけます。

11 ヤマトシジミ

【生息場所】
川・汽水域繁殖期:主に6月~9月
殻長:5mm(1年)、18mm(4年)

ヤマトシジミはうすい塩分のある水域を好みます。入水管から水を吸いこみ、ただよっている植物プランクトンなどを食べています。

12 キセルガイ類

【生息場所】
林・草原・山繁殖期:主に6月~9月
殻長:2~3mm

殻はキセルに似て細長く、巻貝として珍しく大部分が左巻(まき)です。カタツムリの仲間で、日本に約200種類もあります。